

目次

推薦の言葉

はしがき

「くどき落とされて」

学術研究振興施策の概況

◎施策の基本路線

総合的施策の企画と推進

◎学術研究経費の基盤

校費との調和ある発展を

科学研究費とそれを支えてきた人たち

◎科学研究費補助金の今昔と懐かしい人たち

科学研究費との係わり合いと当時の研究助成課

増大する申請に追われて

新しい施策次々に

10

9

4

2

1

◎科学研究費予算の拡充と忘れ得ない人たち

18

日本学術会議時代のこと

◎その職務と活動

22

◎配分審査の改善を巡り再び対決ムード高まる

24

内部の足並みに乱れ

◎助手の第二段審査委員の可否

29

意外性で一件落着

「特定研究」余話——審査パスにしのがを削る

33

◎「特定研究」の推薦を巡って

34

長居は嫌われる

「特別研究」の設定は学審の建議が通例

終了後の移行措置

攻守所を変えて

◎「特定研究」パスにしのがを削る

39

生命科学の奔流の中で農学は

「サロン」で基本戦略

◎「小特定研究」等による研究の促進

◎研究計画の策定あれこれ

ポンチ絵でパス狙う

計画策定のコツ——「重点領域研究」にも

◎「特定研究」の審査

「特別研究」余話——新しい展開を生み出す連携システムの周辺

◎「目に見えない研究所」システムと「特別研究」制度

共同研究体制の整備

流動的な研究連携の構想

「がん特別研究」のスタート

進展する「特別研究」の周辺

◎「特別研究」のチェック・アンド・レビューと時限問題

「期限付特別研究」の新発足

高等専門学校と科学研究費

◎高専教育と研究

68

◎「試験研究」の高専特別枠

70

◎高専における研究費等の充実

71

「試験研究」の申請・審査制度等の改善・充実

73

◎「試験研究」制度と民間等との協力

74

◎審査仕組みの改善

75

◎民間等研究者の「試験研究」への参加とその成果

76

◎「試験研究」制度の充実

78

研究組織の流動化と「重点領域研究」の新設

◎研究組織の流動化は時代の流れ

82

研究組織の流動化の促進

◎「特定研究」・「特別研究」の見直し

85

◎「重点領域研究」の新設とその動向

87

採択の可能性の強い研究領域は

学審提言による重点領域は三課題

◎「核融合特別研究」の廃止とその後の研究体制

96

科学研究費配分審査の仕組みと仕方

99

◎二段審査制による研究種目

100

◎二段審査制によらない研究種目

103

科学研究費（「一般研究」等）をもらうためには

105

◎研究者からの注文・意見あれこれを巡って

106

期待と注文も多く

私立大学の事情

制度の改善・充実を

◎配分審査は学問的見地から

111

◎うまい研究計画の立て方

114

①学術研究動向の把握

②研究業績

③萌芽的研究

④分科細目等の選定

⑤研究計画の内容

科学研究費における研究評価と公表は

◎基礎研究の評価事情

◎特定プロジェクト研究の評価

◎一般的な研究評価

◎「大学と科学」公開シンポジウムの開催

「特別推進研究」システムと世界的最先端研究課題の推進

◎システムのねらいと試行

積極的に世界に貢献を

決断問われる採否

◎正式の研究種目としてスタート

採択状況は

期待通りの成果を

137

132 131

128 127 125 122 121

新プログラム方式による研究推進と新種目「創成的基礎研究費」

◎新プログラム方式の発足

141

◎科学の原点に立ち返って新展開を

143

施策推進の基本姿勢

◎新プログラム方式の施策の概要

146

①新プログラムによる研究分野

②研究分野および研究リーダー等の決定

③財源措置等

◎実施の状況

149

「国際学術研究」制度の推進

◎戦後における国際交流事情

151

暗い時代に科学研究費が光明を

国際交流への道も開かれ

国際学術社会へ復帰

◎「海外学術調査事業」のハシリとその発展

156

国内での研究成果のさらなる発展を求めて

海外調査研究の活発化

◎装い新たに再出発

◎新たな種目「国際学術研究」の設置

◎「国際学術研究」の申請・審査事情

◎外国旅費に一部使用のできる他の研究種目

「奨励研究」制度とその発展

◎「奨励研究 A」

◎「特別研究員奨励費」

◎「奨励研究 B」

「研究成果公開促進費」制度

◎研究成果の出版補助の沿革

「研究成果刊行費」に衣替え

◎「公開発表」を新設し、「研究成果公開促進費」に改定

178

176 175

172 170 168 167

164 162 161 160

「分科・細目の見直しと改善」

◎経緯と背景

181

◎分科細目の改正の概要

182

改正の特徴は

184

科学研究費の今後の方向

189

◎基礎研究を巡る一般的状況

190

◎科学研究費への期待

193

◎科学研究費の運用上の問題点

196

①若い研究者、特に大学院生(博士過程)への対応

②「一般研究」の研究組織に加え得る他研究機関の研究者人員の制限の緩和

③「総合研究A」の「重点領域研究」への統合・吸収

④外国人に対する門戸の開放

◎研究評価と科学研究費

200

巻末資料

205